

クラス	TU314	担当教員	渡辺 顕一郎
テーマ	子ども家庭福祉における実践研究		
著書・論文	「家庭支援の理論と方法」金子書房、2015年 「気になる子どもと気にする先生への支援」金子書房、2013年 「詳解 地域子育て支援拠点ガイドラインの手引」中央法規、2011年		
研究課題等	「子ども家庭福祉の基本と実践」金子書房、2009年 「障害児の自立を見すえた家族支援」中央法規、2006年		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード： 子ども家庭福祉、子育て支援、障害児支援			
<b>目的、内容、方法、授業計画等：</b>  <b>目的：</b> 児童福祉（保育を含む）や隣接領域（教育、母子保健など）の現場に何らかの形で参加しながら、現代の子育ち・子育てをめぐる問題について学びつつ、子どもに対する支援だけでなく、家族や地域へのアプローチを含めながら総合的な支援のあり方について研究する。			
<b>内容：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育ち・子育ての背景にある社会状況の理解</li> <li>・ 子どもの個性と主体性を大切にされたかかわり方</li> <li>・ 子どもと保護者のニーズを理解する方法</li> <li>・ 子どもの発達支援、家族支援の方法</li> </ul>			
<b>方法：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前にグループでの課題研究を行った上で、保育所、子育て支援センター、学童保育、児童発達支援などの現場に出向いて、ボランティア活動を行う。実践に基づいた研究を指向する。</li> <li>・ 県内の近隣地域だけでなく、夏期休暇中に合宿を兼ねて県外の先進的な活動団体への視察（ボランティアを含む）を行う。2018年度は横浜市の地域子育て支援拠点での視察・活動を予定している。</li> <li>・ その上で、卒業研究（ゼミ論形式）を完成させる。</li> </ul>			
<b>授業計画：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年次は「グループでの課題研究→プレゼンテーション→現場での活動→実践報告」を行う。</li> <li>・ 夏期休暇中に、県外の先駆的な活動団体・施設等への視察に出向く。</li> <li>・ その他、進め方の詳細については随時ゼミ生と相談して決める。</li> </ul>			
<b>卒業研究：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒業研究については、3年後期から研究課題を設定し、科学的な考察や実証的研究の進め方を学ぶ。</li> <li>・ 4年次には個別指導を中心に、卒業研究を完成させるための指導を行う。</li> </ul>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
机上の学習だけでなく、現場に出向いての活動を大切にするので、積極的に実践の中に身を置いて子どもや保護者とかかわることを希望する学生を募ります！			